

■ 全日本クラブソフト あす高知で開幕 ■

ソフトボール男子の全日本クラブ選手権は25日、高知市の春野総合運動公園で開幕し、岡山勢で唯一出場する平林金属ク(岡山市)が3年ぶりの優勝に挑む。2年前、日本リーグ制覇など全国3冠を達成した強豪だが、昨年はこの大会での敗戦が響き無冠に終わっただけに、強力打線を軸に雪辱を期す。(村上達也)



3年ぶりの覇権奪取に挑む平林金属クのナイン=HIRAKI INライズ球場

3年ぶりVへ

平林金属ク

強力打線勢い

昨年は格下チームにまさかの初戦敗退。「相手の情報が少なく、打線がつながらなかった」と主将の木谷は振り返る。だが、今年は勢いが違う。参戦中の西日本リーグは折り返しの第2節を終え、8勝1敗の2位。打線の1試合平均6・7得点は9チーム中トップで、8本塁打、15打点、打率4割超の松田をはじめ、谷口、松本、小見山、木谷も打率3割を超え隙がない。コーチ兼任の谷口は「不思議と調子の良い選手に好機で回ってくる」と好調ぶりを口にする。

大会には32チームが出場。炎暑の中、頂点に立つには3日間で5試合を戦わなければ

ばならず、右腕の松田、横島、左腕森田ら投手陣を含め「適材適所で選手を使っていきたい」と吉村監督は布陣を練る。チームは6月の国体県予選以降、実戦からは遠ざかっているが、走り込みや長時間ノックなどで「体の切れはむしろ良い」と指揮官はみる。

最大の難関は、大阪桃次郎との対戦が見込まれる準々決勝。直接対決の成績により西日本リーグで首位を譲るライバルに、松田は「チームの総合力で立ち向かう」と力を込める。今季初タイトル奪取へ、一丸で挑む。

2014年7月24日(木)の山陽新聞朝刊より(山陽新聞社より転載許可承諾済)